

2025年11月20日

# 強みを活かす

自分の強みを把握して、仕事に活かしていく方法

システム開発部 佐藤 光浩

株式会社 ホープ

## 1 はじめに

強みが重要であるという話はよく言われます。

その背景にあるのは、マネジメントの重要な要素の一つとして定義されているからです。

そこで、まずはマネジメントでの強みの位置づけを説明し、その後、あなたの強みに関して明確化をしていきたいと思います。

### 1.1 マネジメントとは

マネジメントは仕事のベースとなる概念です。

良く聞いたことがあると思いますが、具体的な定義は曖昧かもしれません。

よくマネジメントと管理を一緒にしている人を見かけますが、異なります。

マネジメントは、どちらかといえば制御に近いイメージでしょうか。

・管理： 規定通りに仕事を進めているか？が主な目的

・マネジメント：成果が出るように仕事を進めているか？が主な目的

ですので、マネジメント中心で考えると、“無駄な規定や意味のない業務はやめるべき”となります。

### 1.2 P.F.ドラッカー

マネジメントの概念を最初に発表したのは、P.F.ドラッカーという人です。

すでに亡くなってしまったのですが、その考えは現在でも影響力を持っています。

### 1.3 強み

ドラッカーはその著書の中で、強みについて言及しています。

今回のその強みがなぜ重要なのか？と、自分の強みを見つける方法をレクチャーします。

## 2 マネジメントと強みについて

ドラッカーはその著作の中で、マネジメントと強みについて以下のように言っています。

引用:[ドラッカーのマネジメント名言 12選|日本リーダーシップ | 日本リーダーシップ・オブ・マネジメント株式会社](#)

### 2.1 人に関すること

「マネジメントとは、人にかかわるものである。

その機能は人が共同して成果をあげることを可能とし、  
強みを発揮させ、弱みを無意味なものにすることである。」

出典:「マネジメント」 P.F.ドラッカー

ドラッカーの考え方の本質にあるものは、人間です。

- ・人が一緒に働き、成果を上げるためにどうするか？
- ・どうすれば創造的に成長できるか？

などを説く人間学的な要素があります。

そこでは、強みが発揮され、弱みが無いものとされる組織を作り上げる事は重要な課題としています。

### 2.2 人は強みによって成し遂げる

「人が何かを成し遂げるのは、強みによってのみである。

弱みはいくら強化しても平凡になることさえ疑わしい。

強みに集中し、卓越した成果をあげよ。」

出典:「マネジメント」 P.F.ドラッカー

ドラッカーは、弱みより強みにフォーカスしています。

学校などでは弱みの克服が重要とされますが、弱みの克服に注力しても、せいぜい一般的なレベルまでしか上達しないと断言しています。

持っている強みに集中するからこそ、他者との違いがより大きくなり、目を見張るような成果を上げることになるという見解です。

### 2.3 強みは気づかない

「知っている仕事はやさしい。

そのため、自らの知識や能力には特別の意味はなく、誰もがもっているに違いないと錯覚する。

逆に、自らに難しいもの、不得手なものが大きく見える。」

出典:「創造する経営者」 P.F.ドラッカー

ほとんどの人は、自分の強みを知りません。  
ほかの人も、同じような能力を持っていると思い込んでしまう為、自分で  
は気づきにくいものなのです。  
逆に弱みは気づきやすいです。  
ほかの人が出来ていることでも、自分が出来ないものは、目につきます。  
そしてそのことが負い目になり、より大きな存在になってしまいます。  
学校のテストなどで、点数が付けられたりする例が分かりやすいですね。

2.4 組織の目的は、人の強みを発揮させ、弱みを無くすこと  
「人のマネジメントとは、人の強みを発揮させることである。  
人は弱い。悲しいほどに弱い。問題を起こす。  
人とは費用であり、脅威である。  
しかし、人はこれらのことゆえに雇われるのではない。  
人が雇われるのは、強みのゆえであり能力のゆえである。  
組織の目的は人の強みを生産に結びつけ、人の弱みを中和することにある。」  
出典:「創造する経営者」 P.F.ドラッカー

人の強みを発揮させ、チームで弱みは中和することが重要です。  
組織を構築する目的は、“各メンバーの強みを発揮し、それぞれの弱みは  
他のメンバーが吸収することで、成果を上げること”にあります。  
簡単に言うと、“それぞれが得意なことをやっても、全体としてまとまつ  
て結果を出している”のが良いチームとなります。

### 3 あなたの強み

さて、ここまででマネジメントにおける強みの位置づけが分かったと思いま  
す。

お互いが得意なところをフォローしあって、自分の得意なところが発揮でき  
る状態は、理想的ですね。

#### 3.1 強みのリストアップ

では、あなたの強みは何でしょうか？

15 分程度で、強みをリストアップしてください。

自分の強み

### 3.2 良くある間違い

記載した結果、いかがだったでしょう。人によっては難しかったと思います。

なお、強みに関して、良くある間違いは以下です。

- ・スキルを並べてしまう
- ・長所を並べてしまう

なぜこれが強みではないか？を次に説明します。

### 3.3 スキルと強み

仕事などで、技術的なスキルを持っていることが強みであると考える事があります。

確かに一般の人から見ると特別感があり、

「ソフト書けるんだ。そんなスキルを持っているなんて、すごいね」

となります。が、知識や経験により習得したもので、強みとは言えません。

というのも、その業界で働く人にとっては一般的なスキルになります。

特別なものというわけではではありません。

また、そのスキルを使う事で、卓越した結果を得られるとも言えません。

### 3.4 長所と強み

強みは、ある意味長所でもあります。が、長所はより漠然とした、不明瞭なイメージを持った概念になります。

また、長所と短所は相対的、感覚的に語られることが多く、かつ表裏一体となっているものです。

例1) 長所:自分は物事を慎重に考えて、実行に移す

↓(裏返すと)

短所:即断即決が苦手

例2) 長所:自分は人の気持ちを大切にする

↓(裏返すと)

短所:論理的な判断をしなければならない時に難しい

このように、「それって感想だよね」、「逆に言うとデメリット」ということになってしまい、マネジメントで定義したい強みとは言えません。

## 4 強みとは

ここでは、強みに関して例を出して説明します。

### 4.1 ある会社での一コマ

#### 登場人物

- ・みさと君: 中堅プログラマー、独身、猫好き
- ・すずもり先輩: リーダー、既婚、山好き
- ・ホープちゃん: ナビゲーター、ちょっと辛口

みさと: うーん

すずもり: おや、どうしたみさと君？  
真剣な顔をして

みさと: あ、すずもり先輩。  
いい所に。

実はですね、この前の研修で「強みを生かして仕事をしろ」  
って話があつて、その時はすごい納得したんですけど。  
その後、自分の強みってなんだろう？と思ったら、よくわ  
からなくなつて…。

すずもり: 強みか～。

みさと: 自分やっぱり、C とか Python とか、結構バリバリかける  
じゃないですか。

あと、設計もできるっていうか。

一応専門家ってことで、その辺が強みになるんすかね？

すずもり: いやいや、それって単なる専門スキルだよね。  
この業界では当たり前の事じやん。

みさと: やっぱりそうですよね、そんな気もしてました…。

すずもり: お前って、一度決めたらトコトンやり抜くじやん。  
(まあ、頑固ってことなんだけど。)

あと、作業のスピードが速いっていうか。

(まあ、細かいミスが多くて大変なんだけど。)

みさと: 本音が駄々洩れですよ先輩。  
それって、いわゆる長所と短所って言われていることです  
よね。

強みを生かすって話になるのかな？

す＆み: うーん

ホープちゃん：確かに、強みを生かそうという事はよく言われます。  
会社や組織でも、SWOT分析などで自社の強みや弱みを分析したりしますね。  
ただ、強みって言われても、自分や自社に当てはめると難しいですよね。  
スキルではないし、長所短所とも違う気がする。

ここでは、強みとは次のように定義します。  
「自分では簡単に出来ちゃうが、なぜか他の人にはなかなか出来ないこと」

具体例を見ていきましょう。

みさと： (屋上で)いい天気ですね～。  
すずもり： ほんとだな。  
            気持ちいいな。  
みさと： 仕事なんかやっている場合じゃないですよね。  
すずもり： そうだな～。  
            山行きたいな。  
みさと： じゃあ、今日は帰りますか。  
すずもり： 帰ろうか。  
す&み： ...  
  
すずもり： そういえばこの前、お偉いさん集めて会議したじゃん。  
みさと： あーあれですか？  
            みんな好き勝手に言いたいこと言いまくってたやつ？  
すずもり： そうそう。  
            会社の方向性を決めるために、“自由に意見をどうぞ”って言って、しゃべってもらったんだけど。  
            あれは失敗したな。  
            全然まとまらなかつた。  
みさと： 確かに。(笑)  
            営業部長は精神論中心だし、開発部長は将来の技術の話ばかり、総務部長はお金のデータで細かいし。  
すずもり： まとめるために、もう一回集まってもらおうかな。

会議もコントロールして、アジェンダに従って発言してもらつて。

うーん気が重い。時間調整とか発言のコントロールなんて辛すぎる。

みさと: え？

いろいろ話は出たけど、結局言っていることに大きな違いはなかったですよね。

すずもり: え？

みさと: だって、いろいろ言ってたけど、将来の予測は皆さん同じだったし、現状の認識も大きく変わりなかつたし。

すずもり: え？

みさと: 取り組みが雑多であいまいなだけで、その他は結局同じこと言つていませんでした？

3点ほどになると思うんで、まとめましょうか？

すずもり: お前スゲーな。

みさと: ???

ホープちゃん: みさと君の強みは

「ばらばらに散らかっている情報を要約して、まとめることができる」  
でしょうか。

こういう人は、要件定義やシステム設計に向いていますね。

逆に、実装やテストなど、細かいミスが許されない作業をさせても、人並みの能力しか発揮できないと思います。

ですが、まとめる力を発揮できる作業では、その強みが存分に発揮できるでしょう。

このように、強みとは自分では当たり前すぎて、出来て当然なので、自覚することは少ないです。

同僚や上司、友人などの会話で、ヒントをつかむことが大切なかもしれません。

逆に、相手をほめることができその人の強みにつながるかもしれませんので、ほめることも大事ですね。

おわり

## 5 自分の強みについて(Again)

### 5.1 強みのリストアップ

あなたの強みは何でしょうか？

ここまで学習したことを前提に、強みをリストアップしてください。

一人では厳しいと思った場合は、良く知った知人、ご家族、上司や同僚など、色々な方からアドバイスを受けてください。

また過去を思い返してみて、ほめられたことなどをキーにして、深堀してみてください。

自分の強み